

個別課題の深掘りテーマ候補一覧

区分	発生抑制	生ごみ	ごみ減量
概要	<p>選択されたシナリオの大きな課題であるリデュース・リユースを具体的にどのように進めるか。</p> <p>脱・使い捨てや発生抑制の仕組みづくりを事業者と消費者が徹底討論し、名古屋独自のアイデア・先駆的なモデル事業として提案</p>	<p>生ごみの発生抑制や資源化手法についてどのように進めるのか。</p> <p>家庭や地域協働での自主的な取組について提案 全市的な取組の方向性について提案</p>	<p>ごみ減量や焼却のあり方について徹底討論をする。 (ゼロウェイスト VS 焼却容認)</p> <p>プラ焼却の是非、古紙の徹底回収システム、ごみ有料化の目的など議論 焼却ごみは何処まで減らせるのかを提案</p>
幹事役(3名)			
メンバー(5名程度)	(SH)(市民) (外部等)	(SH)(市民) (外部等)	(SH)(市民) (外部等)
専門家		柳下	石川
会議の進め方	<p>幹事役3名、事務局で企画・運営方法を協議、資料検討。 (外部のSH依頼、外部の講師依頼、現場視察など含む)</p> <p>会議は、10名程度(幹事役3、メンバー5、事務局2)で金山事務所などで実施予定</p> <p>必要に応じて、専門家が参加、外部の関係者にヒアリング。</p> <p>議論を踏まえ、具体的な提案を成果物としてまとめる。</p> <p>幹事役代表者は、運営委員会に参加し、状況を報告。</p>		

『深掘り会議』のスケジュール

- 4/15 幹事役募集(各3名×3テーマ)
- 5/17 実行委員会にて、深掘り会議の運営方法・内容決定
- 5/18～メンバー募集
- 5/下 メンバー確定
- 6/上 深掘り会議スタート
- 6～8月 議論・検討
- 8/下 深掘り会議の(中間)取りまとめ
- 9/中 SH・合同会議で発表